

平成22年1月5日

報道関係者各位

No.58106

株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカが米国子会社ClearSight Networks Inc.を米国FLUKE Networks社に譲渡

ネットワーク解析ソリューションの販売を強化

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:渡辺洋介)は平成22年1月4日、当社グループ会社であるClearSight Networks Inc.(クリアサイト・ネットワークス、本社:米国カリフォルニア州、以下ClearSight社)の全株式をFLUKE Networks社(フルーク・ネットワークス、本社:米国ワシントン州)へ譲渡することを発表しました。当社は2009年3月よりFLUKE Networks社と同社のネットワークパフォーマンスモニタ製品群(PfM:Performance Management)及びポータブル型ネットワークアナライザ(PNA:Portable Network Analyzers)に関する日本における総代理店契約を締結しております。

ClearSight社は2003年当社グループの一員として発足し、リアルタイムアプリケーションモニタ、プロトコル解析およびトラブルシューティングのためのネットワーク解析ソリューションの製造・販売を行ってまいりました。今般、当社が保有するClearSight社株式の全部を、FLUKE Networks社に譲渡しましたが、FLUKE Networks社においてClearSight社製品がさらに進化することで、当社のネットワーク測定技術分野における製品ラインはますます拡充されることとなります。

ClearSight社の主力製品であるNTM(ネットワーク・タイムマシン)は、ネットワーク上の大容量のトラフィックを直接HDDに格納し、高いアプリケーション解析能力でネットワークの定常状態を把握したりボトルネックを発見する監視ツールとして、またセキュリティを確保するための調査ツールとして、大手金融、運輸、各種製造などのエンタープライズ顧客から、通信提供事業者や大学などの研究機関にいたるまで幅広く活用いただいております。今回の譲渡により、このNTM製品を含めClearSight社製品群と、FLUKE Networks社製品群の連携したシステムソリューションの販売が可能となり、さらに市場ニーズに合った製品群を加速してユーザの皆様にお届けできるようになると確信しております。

当社はこのFLUKE Networks社との総代理店関係をさらに強固なものにし、今回譲渡したClearSight社の既存製品群、さらには新しく開発される製品群を含めて日本のお客様に今まで以上の製品品質と、サポート体制で提供してまいります。

[FLUKE Networks社(フルーク・ネットワークス、本社:米国ワシントン州)]

FLUKE Networks社は、エンタープライズ企業や通信キャリアのネットワークの有線ネットワークや光ネットワーク、無線ネットワークのインストレーションや検証、テスト、モニタリング、解析のための革新的なソリューションを提供しています。同社の包括的なソリューションである「Network SuperVision Solutions™」は、ネットワークの敷設者やオーナー、管理者にネットワークのパフォーマンスを最適化するための、回線種類を問わずに正確で使いやすい可視化を提供します。本社は米国ワシントン州エベレット市にあり、世界50カ国以上に製品を販売しています。同社のWebサイトは下記の通りです。

www.flukenetworks.com

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和28年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を内外の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取組みは、400人を超える全従業員の8割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、www.toyo.co.jpをご覧ください。

本リリースの内容に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社東陽テクニカ 情報通信システム営業第2部 小野寺

Tel: 03-3279-0771、Fax: 03-3246-0645

※ 本リリースに記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。